

令和元年度 平塚秦野地区交通安全大会・P T A研究発表
神奈川県立高浜高等学校P T A安全委員会

神奈川県立高浜高等学校P T A

「守ってる？『自分の命』と『交通ルール』」

1 はじめに

高浜高校は、昭和9年に平塚市立実科高等女学校として開校しました。その後、昭和34年に現在の学校名の神奈川県立高浜高等学校となりました。平成5年度から共学校となり、令和2年度入学生より、全日制普通科と定時制単位制普通科が併設された学校に変わります。

2 交通安全活動の取り組み

本校P T Aの主な取り組みは、①自転車点検（年2回）、②登校時の挨拶運動と交通安全指導（年2回）、③下校時の挨拶運動と交通安全指導（年1回）となります。

① 自転車点検は春と秋の2回行い、春の点検は



自転車点検



交通安全指導

平塚市内の「サイクルショップオチアイ」の落合様に本校駐輪場にお越しいただき、点検方法のご指導と作業のお手伝いをお願いしております。点検結果は違反のある自転車に直接内容の表を添付し、データは学校と安全委員会が管理します。

② 登校時の挨拶運動と交通安全指導は、夏と秋の年2回実施します。事前に自治会より各ご家庭に日程等のお手紙を配付していただき、当日は平塚市交通安全協会の方をお願いをして、J R平塚駅南口から本校までの通学路内4ヶ所に分かれて教職員と合同で行います。

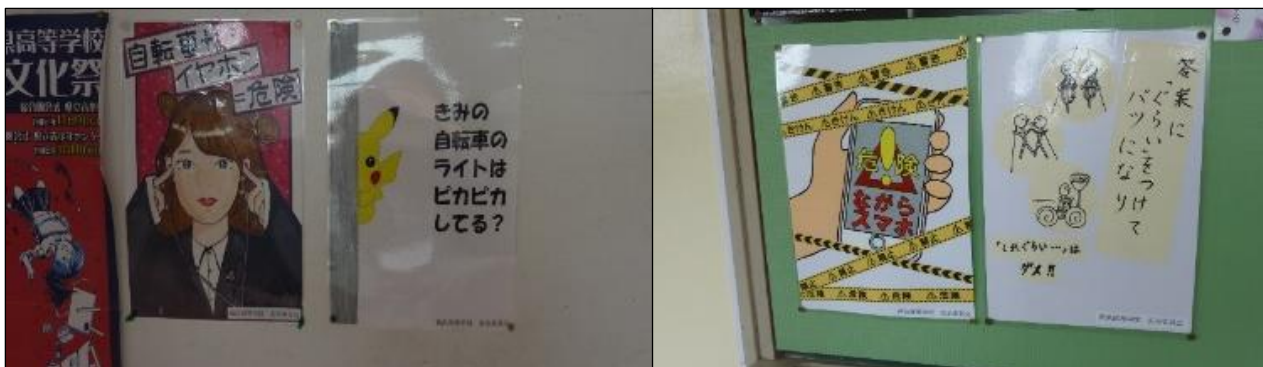
③ 下校時の挨拶運動と交通安全指導（年1回）は、2チームに分かれ、1チームは下校時に教職員と共に正門に立ち、挨拶をしながら見送り、もう1チームは通学路を歩きながら、交通安全指導同様に声掛けを行います。

3 今、生徒たちのために出来ること

現在の高浜高校は、弓道部の射場跡地に来年度開校予定の定時制校舎を建設中です。そのため、校内が日々変化をし続けています。このような状況下で生徒たちに対して何が出来るかを考えた結果、「自転車のメンテナンス」や「ながらスマホの禁止」を訴える自己啓発ポスターを作成することになりました。

日々の通学時、ブレーキが効かず事故を起こす可能性もあります。ながらスマホで周囲の異変を見落とし、思わぬ不幸を生むかも知れません。子供たちとしては、当たり前のように行っているこれらの行為。実は交通違反につながっている事に気付いていない生徒たちが圧倒的多数とされます。

自分の命を守るために、これらのポスターを見て気付き、少しずつ考えを改めて欲しいと願っています。



自己啓発ポスターの作成・掲示

4 今年度行った保護者に向けての取り組み

残念な事に、私たちの委員会活動は本校の保護者の方々には周知されておらず、「何をしているのか分からない」と思っている方がほとんどです。そこで、PTA本部と広報委員会に協力を仰ぎ、今年度から、本校ホームページと広報紙にて委員会活動報告を掲載していく事となりました。

5 発表内容の紹介（会議風景の再現）

- ① 今年度新たに行った取り組みについて（広報紙掲載、ホームページによるPTAの活動紹介）
- ② テーマ紹介（守ってる？「自分の命」と「交通ルール」）

最近よく耳にする高齢者の事故やあおり運転について、交通ルールを守っていても事故を防ぎきる



広報誌（上）とホームページ（下）で活動紹介

ことが出来ないため、歩きスマホはしない、イヤホンをせず街の音を聞くなどして、「自分の命は自分で守る」という意味を込めたテーマに決めました。

- ③ 生徒自身の命を守る方法について話し合いました。

- ・事故発生件数の多い時間帯、対処方法など
- ・10月からの自転車保険の加入義務について
- ・地域の方々のパトロール活動により10年前より不審者の発生件数が減少したことなど

6 交通安全指導と点検を通じて

自転車は、高学年になるほどメンテナンスが行き届かず、違反の手紙を受け取る人数も増えます。そのような状態の自転車に乗り、日々通学する生徒たち。ながらスマホやイヤホン着用、遅刻ギリギリでスピードを出し裏道を走っての通学。これらは生徒たちの「自覚と責任」です。

しかしながら、自転車の整備不良は私たち保護者にも責任の一端があります。可能ならば、親子で通学の様子を話してみてください。それを機にイヤホン着用が危険だと伝える事が出来ます。自転車のチェーンがゆるんでいるなら、早目に整備する事が可能です。もし事故に遭った時どのように対処すべきか。大人が当たり前だと思うことでも、子供は意外と知らないものです。

PTAとしては、その場限りの指導や点検になりがちです。だからこそ私たちの活動をホームページや広報紙に掲載をしました。そして教職員や保護者の皆様、地域の方々と共に一丸となって、生徒たちの命を守っていかれたらと思っています。